

2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [世羅町立世羅中学校] 担当教諭名 [藤澤 眞帆] (1年A・B組 50名)
 相手国・地域 [台湾]
 海外学校名 [Fu-fong Junior High School] 担当教諭名 [Sunny Ma]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイル国際協働学習プロジェクト	40
	英語	台湾のみんなに自己紹介をしよう	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	世界に広げよう“MOTTAINAI”の文化を！
<p>メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)</p>	<p>地球は今まさに様々な分岐点に立っている。食料不足、資源不足など様々な問題が山積している。それを解決するために必要な共通語は“MOTTAINAI”である。この言葉を意識し、私たち一人一人が今できることは何かを考え、行動することで本当の持続可能な社会となる。確かに私たち一人一人ができることは小さいかもしれない。例えば日常の出来事で考えてほしい。衣服の面では、着るだけでなく、寄付すること、雑巾などに再利用すること。食事面では、食べられる箇所は調理をして食べること、食べきれない量は購入しないこと。生活面では、ペットボトルや牛乳パックなどは、リサイクルや分別をして再生を図れるものは積極的に再利用すること、形を変えて利用すること。このような一人一人の日々の小さな積み重ねが大きな変化をもたらす。“MOTTAINAI”を意識し、今すぐにできることに全力で取り組む。それは、私たちの世代だけでなく次の世代も安心して暮らすことができる“地球”を残すために必要なことだ。まさに今、地球に住む一人一人がその一歩を踏み出すときだ。</p>



■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>活動前の生徒たちは、世界の環境問題に対して自分事としては考えられていなかったが、身近なところではほんの少しの工夫やアイデアを積み重ねることで、もしかしたら、自分たちも世界の環境問題を解決できるかもしれないという意識が高まった。</p>	<p>今回の活動を通して、興味深く探求する生徒も増えたが、その反面まだ自分事として考えられていない生徒も合わせて見られた。そのような生徒へのアプローチの仕方がまだ課題点として残っている。</p>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
自分たちの地域が抱える問題など、より身近な話題に関して、生徒たちは考えやすいテーマであるが、県⇒日本⇒世界と規模が広がっていくにつれて、自分事として考えにくくなっていった。しかし、自分たちにもできそうで、なおかつ楽しく取り組めるアイデアが出ると、生徒自ら、斬新なアイデアを提案し積極的に実行するようになった。	改めて世界で地球規模の課題を抱えているという現状を協力した学校と同じ目線で共有でき、SDGsの取組の必要性を生徒とともに認識することができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのことを相手に教える。(教えてもらう) SDGsの17の目標を知る。 世界の課題について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾の生徒の顔を見たり、実際に自分たちが台湾の生徒に自己紹介文を書くことで、活動に関心を持つことができた。 JICAに訪問させていただいて、世界のリアルな現状を知ることができた。 	英語2 総合4
共有 相手と意見交換	9月	<ul style="list-style-type: none"> テーマについて調べる。調べたことをまとめ、課題を見つける。 台湾の課題についても教えてもらう。 台湾との類似点・相違点を見つける。 自分たちの課題を世界とつなげて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 普段何気なく見過ごしていたことが、実は“もったいない”につながっていると知り、少しずつこの活動が身近に感じるようになった。 台湾にも日本と同じような問題を抱えているということを知ることができた。 	総合10
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちはどういう未来を創りたいのか、自分たちに何ができるのか相手と考える。 未来に向けた双方の想いを合わせて、世界に向けて発信するメッセージを作成する。 	今まで調べてきたことを通して、自分たちは世界に何を発信していきたいのかについて、取り組んでみたアイデアを振り返りながら、意欲的に考えていた。	総合12
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの想いをどのように絵に表すのか、制作分担をどう分けるのかを台湾校と相談し、決める。 日本校が先に壁画の半分を制作する。 完成したら、半分描いた壁画と絵の具を台湾へ送る。 	これまで調べてきた内容を絵に反映させていくことに加え、相手校の先生とアイデアを出し合う中で、両国を象徴する動物や、食べ物、文化についても触れることができ、生徒たちは台湾に対しての興味をさらに深めることができた。	総合12
評価 振り返り 自己評価	1月	<ul style="list-style-type: none"> アートマイル壁画制作を通して考えたこと・感じたことを言葉にする。 アートマイル壁画制作を生かして今後やってみたいことを考える。 	アートマイル壁画制作を通して身近な課題が地球規模の課題であるということ海外との交流を通して実感することができた。	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	5	相手校とアイデアを出し合う中で、両国を象徴する動物や、食べ物、文化についても触れることができ、生徒たちは台湾に対しての興味をさらに深めることができた。
主体的に考え行動する力	3	主体的に考え行動することができた生徒が増えた半面、まだ自分事として落とし込められていない生徒もいた。そのような生徒へどのようにコーチングしていくのが課題としてあげられる。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	5	自分たちの地域や日本を、世界と照らし合わせて見つめなおした時に、日本ではまだ改善策が見つからない問題、また、まだ取り組む余地のある問題が多く存在しているということに自ら気が付くことができていた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	2	生徒同士が交流する場面を設定できなかったため、次回はズームや、お互いの国の伝統的なものを紹介するなどといった交流学習も組み込んでいきたい。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	個人で特に伝えたい短いメッセージやキーワードを考え、それらを使って、世界に届けたいことは何か？知ってほしいことは何か？という視点をもって、リーダーを中心に集約することができた。